

平成15年度スーパーサイエンスハイスクール実施計画の概要
(平成14年度指定、第2年次)

指定期間 14～16	学校名 長野県諏訪清陵高等学校	所在地 長野県諏訪市清水 1-10-1		
学科名	生徒数			研究開発の実施規模
	1年	2年	3年	計
普通科	245	246	280	771
研究開発課題	理科・数学のおもしろさ、楽しさの実体験を通して知的探究心を伸ばし、これからのわが国の科学技術を担う独創性・創造性に秀でた人材を育成するための大学・先端企業との連携方法および教育課程の研究開発			
研究の概要	<p>地元の信州大学、諏訪東京理科大学及びセイコーエプソン株式会社と、大学研究室活動への参加、「プリンターのしくみ」等の企業独自の講座開発等、多様な連携を行う。本年度は、前年度実施した各「講座」等を、内容、時期、教育課程への位置付けなどの観点から見直し、高校側が主体となりより効果的な連携をはかる。「研究室訪問」等の新たな連携も試行する。</p> <p>理系の新教育課程を開発。前年度は1年生に後期から、数学、理科(物生地)の3分野)の基礎的学習、楽しい実験・実習や大学、企業との連携を行う新科目「ときめきサイエンス」6時間を全員に実施した。本年度はこの科目の実験・実習部分を充実させ、再度1年生に実施する一方、2年生に少人数の課程を新たに導入。連携、実験・実習、課題探究専門の科目「スーパーサイエンス」2時間を含む特に重点的な理数教育を3年次まで施す。</p> <p>全校で『清陵サイエンスフォーラム21～未来をひらく知の誘い～』を開催。トップクラスの研究者・技術者を多数招き、連続講演会やシンポジウム等も取り入れ生徒の知的探究心を喚起、自然科学の魅力を満喫させ、未来への夢や希望を大きく育む。CATVにより地域にも発信する。</p>			
教育課程の特例等	<p>必修教科・科目の一部を減単(倫理、体育、保健、芸術、家庭一般、家庭基礎)</p> <p>必修科目「情報」は履修しないが、内容の一部を理系は「ときめきサイエンス」、文系は「家庭基礎」で代替</p> <p>理系で文系等科目を削減、数学、理科を増やすとともに、学校設定科目「ときめきサイエンス」(3単位)、「スーパーサイエンス」(4単位)を新設</p> <p>2年次「英語」を1単位削減し、学校設定科目「科学英文講読」を新設</p>			
大学・研究機関等との連携	<p>研究者、技術者を招き、教科の応用・発展的内容や自分の研究あるいは企業製品に関連する内容の授業を受け交流する【講座】。大学の助手等若手研究者、技術者に実験・実習や演習の指導を受け交流する【ゼミナール】。大学や企業に出向き、研究者、技術者から実験施設・設備も活用した授業を受ける【サイエンスプログラム】。大学の授業を受講する【授業体験】。大学の研究室の活動に一定期間参加、研究活動の現場を体験し、研究者とも交流する【研究室訪問】。</p> <p>創造性を高める指導方法等についての高校教員との研究会【教科研究会】。</p>			
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価 ・授業シラバスの作成 			